

ヒロシマと映画



『原爆の子』
新藤 兼人／監督 1952年
©近代映画協会



『ひろしま』
関川 秀雄／監督 1953年
提供：独立プロ名画保存会
配給：奇跡への情熱 [核廃絶プロジェクト]



『この世界の片隅に』
片瀨 須直／監督 2016年
© 2019この時代の・コアミックス / 「この世界の片隅に」製作委員会

開催期間 令和6年7月6日(土)～9月23日(祝)

【期間中の休館日】 月曜日(7月15日、8月12日、9月16日、9月23日を除く)、7月16日(火)、7月31日(水)、8月13日(火)、9月17日(火)
【期間中の開館時間】 火～金/9:00～19:00 7・8月の土・日・祝・8月6日/9:00～18:00 9月の土・日・祝/9:00～17:00

会場 広島市立中央図書館 2階 展示ホール

入場無料

関連イベント 講演とトークセッション「ヒロシマを伝える映画を語り継ぐ」
日時 7月28日(日)10:00～12:00
被爆体験者の証言を聞く会
日時 8月11日(日)13:00～15:00

※詳細は裏面をご覧ください。

上映情報 映画『原爆の子』『ひろしま』『この世界の片隅に』は8月2日(金)～8月8日(木) (1週間) 映画館 八丁座で上映。
料金・上映時間等の詳細は八丁座までお問い合わせください。
(広島市中区胡町6番26号 福屋八丁堀本店8階 TEL:082-546-1158 <https://johakyu.co.jp/>)

企画展／2階 展示ホール

戦後から現在に至るまで被爆をテーマとした映画が数多く制作されています。今年度の企画展は、原爆映画で伝えられてきた広島市の被爆の実相や被爆者の想い、被爆体験の継承について所蔵資料や写真パネル等で紹介します。



『原爆の子 広島市の少年少女のうたったえ』
長田 新／編
岩波書店 1951年



『新藤兼人の世界 開館十周年記念』
広島市映像文化ライブラリー／編
新藤 兼人／著
広島市映像文化ライブラリー 1992年



『はだしのゲン 第1部』
山田 典吾／制作・脚本・監督
中沢 啓治／原作
現代ぷろだくしょん 出版年不明

関連上映

展示ホール内のディスプレイで短編映画2本をリピートで上映します



『二十万の亡霊』
ジャン・ガブリエル・ペリオ／監督 フランス 2007年



『ヒロシマ平和映画祭2005ガイドブック』
ヒロシマ平和映画祭実行委員会／編
ヒロシマ平和映画祭実行委員会 2005年



『HIROSHIMA 1958』
エマニュエル・リヴァ／写真、港 千尋／編、
マリー＝クリスティーヌ・ドゥ・ナヴァセル／編、関口 涼子／訳
インスク립ト 2008年



『OBON』
アンドレ・ヘアマン&アンナ・サモ／監督 ドイツ 2018年

関連イベント／3階 セミナー室

※この関連イベントは、広島市高齢者いきいき活動ポイント対象事業です。

① 講演とトークセッション「ヒロシマを伝える映画を語り継ぐ」

●日時 7月28日(日)10:00～12:00

講演

戦争の記憶と記録を語り継ぐ映画祭の活動について

講師 御手洗 志帆 氏 (一般社団法人昭和文化アーカイブス 代表理事)



御手洗 志帆 氏



西崎 智子 氏

トークセッション

映画で被爆体験を伝える取組について

講師 御手洗 志帆 氏・西崎 智子 氏 (広島フィルム・コミッション)

② 被爆体験者の証言を聞く会

原爆投下後の広島では、どのようなことが起こっていたのでしょうか。一発の原子爆弾がもたらした惨禍を体験された方から、当時の様子や平和への思いを直接お話しいただきます。

●日時 8月11日(日)13:00～15:00

講師 切明 千枝子 氏 (公益財団法人広島平和文化センター被爆体験証言者)



切明 千枝子 氏

【参加方法】①②ともに

定員／各60名(先着順)

申込方法／7月2日(火)9:00から受付開始

中央図書館へ来館、電話、FAX、ホームページの申込フォームから

※申込に際しての個人情報、この関連イベントのみに使用し、他に提供することはありません。

手話通訳・要約筆記が必要な方は

① は7月14日(日)までに

② は7月28日(日)までに

お申込みください。

お問い合わせ
関連イベントの申込み

広島市立中央図書館

広島市中区基町3番1号

TEL 082-222-5542 FAX 082-222-5545

https://www.library.city.hiroshima.jp/

